

御殿場市長 勝 又 正 美 様

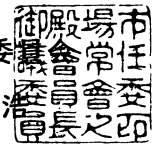
スポーツの活性化について（提言）

スポーツの効果は、個人の健康及び体力の保持増進だけでなく、地域コミュニティの活性化や子どもたちの成長にも大きく関与し、ひいては郷土愛の醸成や共生社会の実現につながるものである。また、本市への来訪者の目的がスポーツである場合、スポーツを通して築かれた友情や絆はとても深いものとなり、何度も来訪し、ともにスポーツを楽しむことは明白である。本市の『スポーツタウン御殿場』推進協議会が推進しているスポーツツーリズムの神髄は“絆”であり、そこに本市の自然環境やグルメ・美酒などが結びつき、思い出を深くし、より強い“絆”にするものである。

本市のスポーツ行政は、スポーツツーリズムの側面が大きく、市民スポーツの活性化については、スポーツ協会やスポーツ推進委員会、各地区の体育振興会などが担っているが、もっと広く、深く市民に浸透させる必要がある。また、スポーツツーリズムにおいても、幅広いスポーツの受け皿を考えると、本市の体制の更なる充実が必要と考え、本委員会は、スポーツに関連した行政視察を行うとともに、「スポーツのチカラ×まちおこし」をテーマにスポーツ関係者に加え、観光協会、商工会、JAなどの代表者をお招きし議会報告会を実施した。

報告会では活発な意見交換をし、たくさんの御意見を頂戴した。一番多かった御意見は、「『スポーツタウン御殿場』の目的が分かりにくい」ということであった。そこで、『スポーツタウン御殿場』がより飛躍し、スポーツ率向上による市民の健康増進及び郷土愛の醸成、そして地域活性化、かつ、現在推進しているスポーツツーリズムの更なる発展を願い、別紙のとおり提言をするものである。

御殿場市議会 経済環境委員会  
委員長 林 義  
副委員長 小 林 恵美子  
委員 永 井 誠 一  
委員 辻 川 公 子  
委員 杉 山 護  
委員 黒 澤 佳壽子  
委員 高 橋 利 典



# スポーツの活性化に向けた6つの提言

## 提言1. スポーツ施策の更なる充実

- ・スポーツを「する・みる」について、個人・地域におけるスポーツ活動の推進や大会・合宿誘致などを更に推進すること。
- ・スポーツを「支える」について、県や近隣市町と連携し、「ふじのくにスポーツボランティア」への登録を促進すること。
- ・スポーツに「誰もがアクセス」できるについて、スポーツ施設の充実や情報発信などを強化すること。

※新スポーツ（特にスケートボードなどのアーバンスポーツ）が競技できる場所づくり

## 提言2. 目標の設定

- ・「する・みる」「支える」「誰もがアクセス」の各項目について、目標と目標までのロードマップを作成し、スポーツ関係者はもとより、市民に浸透させること。

## 提言3. スポーツ医・科学の推進

- ・「スポーツ＝健康」を意識づけるため、医学的視点からスポーツによる身体づくりの必要性などをテーマとした医療関係者による講習会を開催すること。
- ・ケガの発生率を減らすため、スポーツでのケガの防止やケガの対応術などをテーマとした医療関係者による講習会を開催すること。

## 提言4. 障がい者スポーツの普及拡大の環境づくり

- ・障がい者スポーツの情報発信を強化すること。
- ・障がいのある人とない人が一緒に参加できるインクルーシブスポーツを推進すること。
- ・障がい者の意見を踏まえたスポーツ施設の整備・改修をすること。
- ・障がい者スポーツに対する理解促進の教育を実施すること。
- ・日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者の育成支援制度を設けること。

## 提言5. システム導入による見える化

- ・ 体育館やグラウンドなどのスポーツ施設の予約を一目で見ることができるシステムを導入すること。

## 提言6. スポーツツーリズムにおける合宿等の受け皿の開発

- ・ スポーツ合宿などについて、少ない予算でも受け入れができる体制をつくること。
  - ※コミュニティ供用施設・体育館などの公共施設の開放（調理場も提供）
  - ※農家民宿・民泊などの紹介や発掘
  - ※民間企業や駐屯地内のスポーツ施設の紹介や開放に係る協力支援
  - ※空き家などの活用
- ・ 「スポーツ×グルメ」「スポーツ×温泉・サウナ（富士山の伏流水）」「スポーツ×買い物（商店街やアウトレットなど）」「スポーツ×美酒（夜の御殿場）」「スポーツ×マッサージ（鍼・灸・整体なども）」「スポーツ×エステ」「スポーツ×観光」「スポーツ×キャンプ」など、スポーツとコラボすることによる“絆”の強化と再来訪による観光交流客数の増加、経済波及効果を楽しみながら増やすこと。